

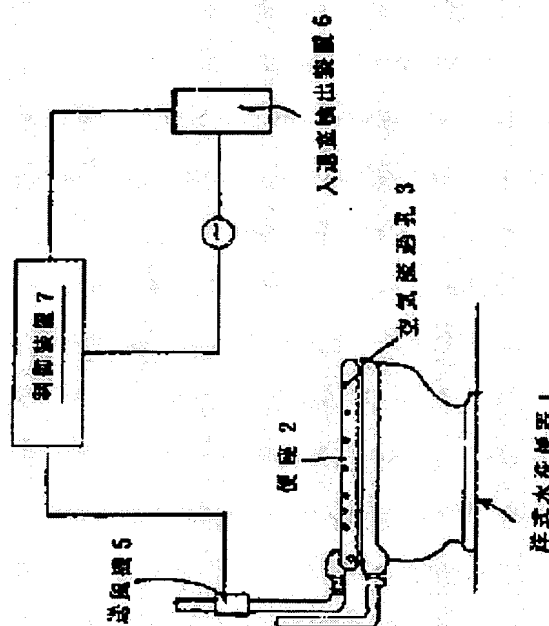
DEVICE FOR ATTACHING AND DETACHING TOILET SEAT COVER PAPER

Patent number: JP1254126
Publication date: 1989-10-11
Inventor: KIMURA MOTOYASU
Applicant: KIMURA GIKEN KK
Classification:
- **International:** **A47K13/16; A47K13/00;** (IPC1-7): A47K13/16
- **European:**
Application number: JP19880080459 19880401
Priority number(s): JP19880080459 19880401

Report a data error here

Abstract of JP1254126

PURPOSE: To contrive an easy use of a toilet seat cover paper by sending air to the internal space of hollow toilet seat on the upper surface of which a plenty of holes are bored to such a toilet seat cover paper onto the toilet seat and discharging air from the internal space of the toilet seat to cause the used cover paper to fall. **CONSTITUTION:** A hollow toilet seat, for which a plenty of holes 3 are bored on the upper surface, is provided. When a toilet user goes into a toilet room, a blower 5 is forward revolved according to a signal from an incoming and outgoing detecting device 6. Then, the air is sucked from the holes 3 and the toilet seat cover paper is sucked to a suitable position. Next, the outgoing of the toilet user is detected by the device 6 and an outgoing signal is inputted to a control device 7. The blower 5 is reversely revolved by the control device 7 and the used cover paper is caused to fall from the toilet seat into a toilet. Thus, the attaching and detaching of the toilet seat cover paper can be easily executed.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

⑫ 公開特許公報(A) 平1-254126

⑤ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成1年(1989)10月11日

A 47 K 13/16

7705-2D

審査請求 有 請求項の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 便座被覆紙着脱装置

⑮ 特 願 昭63-80459

⑯ 出 願 昭63(1988)4月1日

⑰ 発 明 者 木 村 元 保 東京都世田谷区上用賀4丁目9番19号 株式会社木村技研
内

⑱ 出 願 人 株式会社木村技研 東京都世田谷区上用賀4丁目9番19号

⑲ 代 理 人 弁理士 宇津城 達之助

明 細 書

1. 発明の名称

便座被覆紙着脱装置

2. 特許請求の範囲

上面に多数の穴を明けられた中空便座を設けると共に、中空便座の内部空間に空気を送り込み既使用の便座被覆紙を便座より脱落させる第1の動作と、中空便座の内部空間より空気を排出させて次に使用される便座被覆紙が中空便座上に吸い付けられ得るようにする第2の動作とを行う自動操作装置を設けたことを特徴とする、便座被覆紙着脱装置。

3 発明の詳細な説明

産業上の利用分野:

本発明は、洋式水洗便所の便座被覆紙着脱装置に関する。

従来の技術:

洋式水洗便所の便座の衛生状態保持に関しては次の3方法、すなわち、ブラシを使用して行う

便座洗浄と熱風の吹き付けによる便座乾燥とを組合わせた方法(洗浄法)と、消毒剤を塗布した紙で便座を拭く方法(拭き取り消毒法)と、便座を紙で覆う方法(被覆法)とが知られている。洗浄法は、旋回動または直線動により便座を便室外に移動させ、移動位置において洗浄と乾燥とを行う方法で、衛生的にすぐれた状態に便座を保ち得るがこの方法の欠点はそれを行うのに必要とする装置が大形で設備費の高む点にある。拭き取り消毒法は上記3方法のうち、最も簡単なものであるが、得られる清浄化効果に不安を伴う。最後に挙げた被覆法は簡単で清浄化効果もよいが、この方法には便座被覆紙を正確な位置に取り付けにくいという欠点がある。

発明が解決しようとする問題点:

上記のごとく被覆法は簡単で清浄化効果もよいのであるが、それは便所の利用者が比較的器用な場合に限られる。すなわち、多くの人は便座上の正確な位置に被覆紙を置き難く、被覆紙を反古にしたり、多数の反古被覆紙を便鉢に投入して便

器の防臭トラップを詰まらせたりする。被覆法が
 嫌われるのはこのような事情による。

問題点を解決するための手段：

本発明は上記問題点の解決を意図するもので、
 上面に多数の穴を明けられた中空便座を設けると
 共に、中空便座の内部空間に空気を送り込み既使
 用の便座被覆紙を便座より脱落させる第1の動作
 と、中空便座の内部空間より空気を排出させて次
 に使用される便座被覆紙が中空便座上に吸い付け
 られ得るようにする第2の動作とを行う自動操作
 装置を設けたことを特徴とする。

上記の自動操作装置は、回転方向の選択によ
 り吐出圧の符号を変えるブローと、便室に対す
 る便所利用者の動きを検出するスイッチとを含ん
 で構成される。第1の動作は便所利用者が便室よ
 り退去するときに起こるようにされ第2の動作は
 便所利用者が便室に入るときに起こるようにされ
 るのを普通とするが、防臭が特に重視される場合
 には、第1の動作と第2の動作とが共に便所利用
 者が便室より退去するときに起こるようにされる。

共に、上面に多数の空気流通孔3を明けられてい
 る。4は便座2の内部空間である。内部空間4の
 圧力は送風機5と、便室への入退室検出装置6と、
 制御装置7とを含む系(第3図に示す制御系)によ
 り制御される。(送風機5の回転方向については、
 便宜上、送風機5を正転させたときに便座2の内
 部空間4の圧力が負となり、送風機5を逆転させ
 たときに便座2の内部空間4の圧力が正となると
 する。)

便所利用者が便室に入ると、送風機5が入退
 室検出装置6よりの信号により正転し便座2の内
 圧が負となる。これにより便座2はそれに設けら
 れた多数の空気流通孔3を経て空気を吸引流通さ
 せる状態、換言すれば、便座被覆紙(以下、単に
 被覆紙と言う。)を吸い付け得る状態となる。被
 覆紙はその一部が便座に接触させられ、接触箇所
 の移動→姿勢の修正という過程を経て使用待機
 の状態となる。

便所利用者の退去は入退室検出装置6におい
 て検出され、退去信号は制御装置7に入る。制御

作用：

便座の内部空間の圧力が負圧とされている状
 態は便座への被覆紙の取り付けを待機する状態で、
 便座上に被覆紙を置くと、被覆紙は風によっては
 動かないようになる。被覆紙の位置の狂いは便座
 上において被覆紙を適宜牽引して滑動させること
 によりなくされる。被覆紙の取り付けは便所利用
 者が行う手動の動作である。一方、便座上に残さ
 れた使用済み被覆紙の除去は便座の内部空間の圧
 力が正圧とされることにより起こる自動の動作で
 ある。上記第2の動作の作用の助けを借りつつ便
 所利用者が行う被覆紙の取り付けは不器用な人
 でも容易に行うことができる。

実施例：

第1図および第2図は本発明による装置の便
 器を示す端面図および平面図、第3図は第1図お
 よび第2図に示すものの操作系を示す略線図であ
 る。

これらの図において、1は洋式水洗便器、2
 はその便座である。便座2は中空にされていると

装置7は退去信号により送風機5を逆転し、使用
 済みの被覆紙を便座より脱落させて便体内に落下
 させる。被覆紙は水溶性のものとされていて、落
 下時または後に行なわれる洗浄水の放流時に排水
 管に運ばれる。

発明の効果：

洋式水洗便所は被覆紙が備え付けられていて
 もその使用が敬遠され、和式水洗便所の使用を希
 望する者が多いのは正確な位置に被覆紙を取り付
 け難く、伝染性疾患感染のおそれがあることによ
 る。本発明はこの点を改善し、“洋式水洗便所嫌
 い”の人の数を少なくする効果をもたらすもので
 ある。

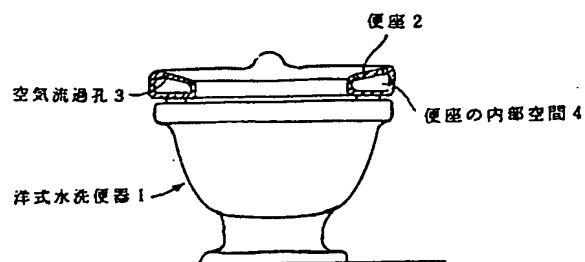
4. 図面の簡単な説明

第1図および第2図は本発明による装置の便
 器を示す端面図および平面図、第3図は第1図お
 よび第2図に示すものの操作系を示す略線図であ
 る。

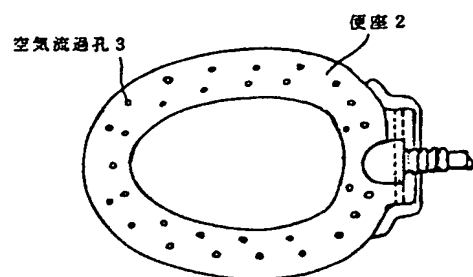
代理人 宇津城達之助

達之助
 印

第1図



第2図



第3図

